

各位

上場会社名 株式会社 ミクニ  
 代表者 代表取締役社長 生田 久貴  
 (コード番号 7247)  
 問合せ先責任者 取締役 執行役員 財務経理・情報統括部長 櫻井 榮一  
 (TEL 03-3833-0392)

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	69,000	△2,000	△2,400	△2,900	△85.51
今回発表予想(B)	65,200	△1,950	△2,200	△4,700	△138.58
増減額(B-A)	△3,800	50	200	△1,800	
増減率(%)	△5.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	87,902	△486	△1,399	△2,483	△73.20

#### 修正の理由

##### 1. 通期連結業績予想数値の修正

一昨年に米国で端を発した金融危機に伴う急激かつ大幅な需要の減少によって、当グループの収益環境は厳しい状況となりました。この環境にグループ一丸となって対処すべく、総労務費・経費の削減や工場の集約化を含めたグローバルな生産再配置等の諸施策を推し進めてきた結果、営業利益においては、当第3四半期連結会計期間より利益を計上し、また上記に示す通り通期連結業績についても概ね予想通りに推移すると見込まれます。

一方、当期純利益につきましては、「事業構造改善費用」10億3千3百万円(個別では9億2千8百万円)の特別損失への計上、法人税等調整額の増加により、前回予想を下回る見込みとなりました。

##### 2. 特別損失の計上

###### 「事業構造改善費用」

当グループは、急激な需要の減少に伴う収益環境の悪化に対して、「事業構造改善」による収益体質の強化のための諸施策を推し進めてまいりました。このような環境下、当グループの収益体質の強化を早期実現するために当連結会計年度において特別損失として「事業構造改善費用」10億3千3百万円(個別では9億2千8百万円)を計上することといたしました。その主な内容といたしましては、当社の固定資産の減損損失9億1千万円、米国の販売子会社において従業員の早期退職にかかる費用1億4千万円などがあります。

###### (1) 生産体制再構築による費用

生産の再配置等の改革・改善諸施策において、自動車関連品事業における将来の事業展開に鑑みた生産体制の再構築を推し進めてまいりました。これに伴い固定資産の減損損失を計上することといたします。

###### (2) 人員体制再構築による費用

当グループの米国の販売子会社において、将来の事業展開を見据えた人員体制を構築するために早期退職募集を行い、これに係る割増退職金等の費用を計上することといたします。

###### (3) システム基盤再構築による費用

当社において、システム基盤の再構築を進めてまいりましたが、保守的な観点でソフトウェア導入に係る費用を固定資産の減損損失として計上することといたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。